

# 國學院大學學術情報リポジトリ

〔書評〕 薛静著 『近代日本語教科書における謙讓表現』

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 孝行, Ito, Takayuki メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.57529/00000670">https://doi.org/10.57529/00000670</a>

〔書評〕

薛静著

『近代日本語教科書における謙讓表現』

伊藤孝行

近代に刊行された日本語教科書を資料とした研究成果がまた一つ刊行された。近代日本語教科書の、主に言語面からの研究成果は近代日本語史・日本語教育史両面にとっておおいに意義のあるものである。國學院大學には坂本（二〇〇八）としてまとめる必要があるほどの近代日本語教科書が所蔵されており、本書はその研究環境を最大限活用した新規性に富む研究成果である。

近代日本語教科書は近代日本語史を明らかにするうえで必須の言語資料であるが、等閑視されていると言っていないだろう。近代日本語教科書の資料価値や言語面からのアプローチの意義として、伊藤（二〇一七）では「日本語教科書は大なり小なりその当時の日本語の規範が写しとられているのではないだろう

か。日本語教科書はその名のとおり教科書であるので、その教科書を使う側にとっては日本語を学ぶ際のよりどころの一つであり、その教科書を著した側にとっては一定の水準をクリアした、あるいは日本語学習者のニーズにこたえた日本語の見本であるはずである。すなわち、日本語教科書には近代日本語史研究に於ける言語資料かつ日本語教育史研究の資料という性質がある。」とある。本書はまさに「その当時の日本語の規範」・「日本語学習者のニーズにこたえた日本語の見本」を丹念に調査し、近代日本語史の変化を明らかにするパズルの一片として機能している。

近代×中国人留学生を対象とした日本語教育という括りで見れば、松本亀次郎という日本語教師と松本亀次郎の関わった日本語教科書について避けて通ることはできない。日本語教育能力検定試験対策の書籍でも日本語教育史の項に必ず紹介されている人物である。本書は松本亀次郎が関わった日本語教科書の全文に目を通し、謙讓表現の用例を悉皆調査し、適宜一覧にまとめ、考察している。ここに記すまでもないかもしれないが、これらの資料はいつさいテキストデータ化されていない。そのような資料に正面から取り組み、悉皆調査した結果であることであえて記しておきたい。

本編の目次は次のとおりである。

- 序章 研究の背景と先行研究
- 一 研究背景
  - 二 近代敬語史についての先行研究
  - 三 本研究で用いる用語や記号など
  - 四 本論の構成
- 第一部 近代中国人留学生教育について
- 第一章 近代中国人留学生教育について
- 一 はじめに
  - 二 中国側から見た日本留学の理由
  - 三 中国人留学生向けの日本語教育
  - 四 宏文学院
  - 五 松本亀次郎
  - 六 おわりに
- 第二部 松本亀次郎編纂の会話型教科書における謙讓表現
- 第二章 松本亀次郎編纂の会話型教科書における謙讓表現
- 一 はじめに
- 二 『漢訳日本語会話教科書』における謙讓表現
- 三 『日語会話』
- 『華訳日本語会話教典』
- 四 『華訳日本語会話教典』
  - 五 松本亀次郎編纂の会話教科書に於ける謙讓表現の特徴
  - 六 おわりに
- 第三章 松本亀次郎編纂の文典型教科書における謙讓表現
- 一 はじめに
  - 二 近代の日本語文法書における謙讓表現
  - 三 松本亀次郎編纂の文典型教科書における謙讓語表現
  - 四 松本亀次郎編纂の文典型教科書における謙讓表現の特徴
  - 五 松本、松下、三矢、吉岡との比較
  - 六 おわりに
- 第四章 松本亀次郎編纂の語法型教科書における謙讓表現
- 一 はじめに
  - 二 『日本語教科書』における謙讓表現
  - 三 『日本語のはじめ』
  - 四 『訳解日語肯綮大全』
  - 五 松本亀次郎編纂の語法型教科書における謙讓表現について
  - 六 おわりに
- 第三部 宏文学院の日本語教師編纂の日本語教科書における謙讓表現

第五章 宏文学院の日本語教師編纂の会話教科書における謙讓

表現

一 はじめに

二 『中日対照実用会話篇』

三 『東語会話大成』

四 『漢訳学校会話篇』

五 松本亀次郎編纂の会話教科書における謙讓表現との対照

比較

六 おわりに

第六章 宏文学院の日本語教師編纂の文典型教科書における謙讓

謙讓表現

一 はじめに

二 研究対象

三 宏文学院の教授陣編纂の文典型教科書における謙讓表現

四 松本亀次郎編纂の文典型教科書における謙讓表現との比較

較

五 おわりに

第四部 近代読本教科書における謙讓表現

第七章 近代読本教科書における謙讓表現について—松本亀次郎と宏文学院の日本語教師編纂の教科書を中心に—

一 はじめに

二 調査対象

三 読本教科書における謙讓表現

四 読本教科書において謙讓表現が少ない理由

五 おわりに

最終章 結論と今後の課題

一 本研究で明らかにしたこと

二 今後の課題

序章では本書を読むにあたっての定義や前提が書かれている。日本語学の概略を御存知の方や日本語の敬語史について述べられている。本書を最初から読み進める前に確認するには適当な量である。(ちなみに一五ページ・三行目「近代日読本教科書」とあるのは「近代日本語教科書」であろう。)

第一部では中国人留学生在が日本に留学した理由、そして松本亀次郎(一九三二)『中華五十年遊記・附・中華留學生教育小史・中華教育視察紀要』の記述に則り、中国人留學生を対象とした日本語教育を四期に分け、各期の特徴について整理している。また本書で主な資料として扱われている宏文学院について、その宏文学院での日本語教育の主要人物であった松本亀次郎の生

涯や教育観、編纂した日本語教科書が一覧にまとめられている。

「四・三 宏文学院の教育成果」では宏文学院の教育効果について酒井(二〇一〇)の考察を掲げている。言語面だけにとどまらない著者の意欲を感じられるところである。本書三四ページにある松本亀次郎編纂の日本語教科書一覧によれば、松本亀次郎が編纂した日本語教科書は一七種あり、宏文学院編著の日本語教科書は四種とある。であれば、松本亀次郎は宏文学院閉院後に関わった日本語教科書に宏文学院勤務時に得た改善点や知見をいかしているのとみるのが自然であろう。(ちなみに二七ページ・六行目「加納」とあるのは「嘉納」であろう。)

第二部では松本亀次郎編纂の会話型教科書における謙讓表現として、松本亀次郎編纂の会話型教科書における謙讓表現、松本亀次郎編纂の文典型教科書における謙讓表現、松本亀次郎編纂の語法型教科書における謙讓表現について述べられている。

第三部では宏文学院の日本語教師編纂の会話教科書および宏文学院の日本語教師編纂の文典型教科書における謙讓表現について、『東語会話大成』『漢訳学校会話編』『東語正規』『東語集成』、そして松本亀次郎と同郷の松下大三郎による『漢訳日語階梯』『漢訳日本口語文典』等に於ける謙讓表現を悉皆調査している。一六五ページ・一六七ページ・一六八ページに謙讓表現の形式

別・執筆者別の謙讓表現の採用状況が表にまとめられている。

これらの表は近代日本語史・日本語教育史研究にとって有用な一覧であり、今後この表が先行研究として活用されていくことは明白である。

最後に、本書のカバーデザインについてもふれたい。この書評を書いているとき、ふと本書を見て気がついた。何と、表紙と裏表紙に本書と関わりのあるメッセージが隠れているではないか。本書を手にとってからずいぶん日が経っていたにもかかわらず、遅ればせながら気がついた。このカバーデザインは著者のリクエストによるものなのか、後日確認する機会を楽しみにしたい。

#### 附

本稿を執筆中、本書でとりあげられている松本亀次郎について扱った二見剛史(二〇二二)が刊行されたことを附す。

#### 参考文献

伊藤孝行(二〇一七)『近代日本語史に見る教育・人・ことばの交流 日本語を母語としない学習者向け教科書を通して』大空社出版

公益財団法人日本国際教育支援協会ホームページ〈日本語教育能力検定試験〉出題範囲 <http://www.jees.or.jp/jict/rangel.htm> (閲覧日: 二〇二一年六月二〇日)

酒井順一郎(二〇一〇)『清国人日本留學生の言語文化接觸 相互誤解の日本教育文化交流』ひつじ書房

坂本哲平(二〇〇八)「三矢重松博士旧蔵三矢夏井氏寄贈近代書籍目録及び

高橋龍雄教授寄贈本目録」『國學院大學大学院文学研究科論集』三二六

二見剛史(二〇二二)『中国人留學生の父・松本亀次郎研究…その学問観と教育実践を中心として』学文社

(A5判、二四三頁、郵研社、二〇二〇年一〇月発行、定価  
四〇〇〇円+税)